

千葉職対連ニュース

発行 千葉労災職業病対策連絡会

〒262-0032 千葉市花見川区幕張町 4-524-2

千葉民医連事務センタービル 2F

TEL/FAX 043-273-9199

E-mail : chiba_syokutairen@ybb.ne.jp

安倍内閣の「裁量労働制」が法案から削除

幾つもの労働に関する法案を一括成立させようとする安倍内閣。裁量労働制を導入して、残業代を払わずに成果が出るまで際限なく働かせようとする「働き方」法案は、同時に残業管理をしないことで過労性の労働災害の基準となっている超過勤務の実態もわからなくさせる危険なものです。この裁量制を営業等の職種にも拡大させようとしてきました。

今回の裁量労働制適用拡大に、多くの「全国過労死を考える家族の会」の方がテレビや新聞紙上に登場し、裁量労働で労働者には仕事量の裁量はないとして、死ぬまで働かされる犠牲者が増えないよう訴えてくれました。視聴者や読者に裁量労働制のごまかしを鮮明に暴いて見せて、大きな成果をはたしま

した。その中で、厚生労働省の裁量労働制に関するデータに多数の誤りがみつき、安倍内閣は今国会への裁量労働制については法案から削除すると発表しました。

法案に有利になるデータを作った厚生労働省ですが、一方で過労死等防止対策推進法に基づき“過労死等防止対策シンポジウム”を主催しています。同防止法の成立に尽力した「全国過労死を考える家族の会」もシンポジウムに協力しています。「労働者・国民を守るべき」省庁が経営側重視の異常な内閣に支配されている矛盾。この矛盾と混乱の中でも厚労省が本来の任務を全うするよう、しっかりと見守っていきましょう。

2月号休刊のお詫び

千葉職対連ニュース2月号は編者の事情により、休刊致しましたことを詫び申し上げます。



維新異聞

「国家の正史が編纂されなかった知られざる事実」

第17回関東甲信越学習交流集会参加のおまけの話：長野県開催というチャンスを活用すべく交流集会に先立ち前泊して、同県上田市の真田城跡を尋ねました。ここには日露戦争の日本海海戦で有名な東郷平八郎元帥が建てた「赤松小三郎君へ」という記念碑があり尋ねたものです。

赤松小三郎は信州・上田藩出身で幕末に活躍した兵法学者です。彼は若くして英語を学びイギリスの兵法書を翻訳した経験から、京都の薩摩藩邸にて薩摩藩士などに兵法を教授した経歴もあります。さらに彼は開港後の横浜にも出向き、学問修行中に知り合った英国の知

人から英国議会の仕組みも学び、日本に先進的な議会制度を導入しようと建白書も提出しています。日本で国会が開催されるのは20数年後ですが、先進的な議会制民主主義を実現しようとした事実は、これまで私たちが持っていた「幕末観」を一変するものです。しかし身勝手な恐れを持った薩摩藩西郷隆盛は人斬り中村半次郎を手先にして暗殺したのです。幕末維新の騒乱時代、薩長土などの西南雄藩のテロはひどいものがありました。

日露戦争の慰霊祭が長野の善光寺で行われた帰途、東郷平八郎は上田に立ち寄り、日露戦争で（裏面へ）

日本が勝利したのは、赤松小三郎君の御陰と感謝するとともに赤松小三郎を薩摩藩士が手にかけたことを遺族に謝罪したようです。その記念碑が上田城にあります。

東郷平八郎の謝罪といえはもう一人います。彼は薩摩藩にあって意外と正直な人で日本海軍の礎を築いた最後の幕閣・小栗上野介忠順(ただまさ)の遺族にしたものです。

日本海海戦の日本海軍の勝利は小栗が建設した横須賀海軍工廠があったおかげであり日本救国の英雄は小栗であると感謝しています。海軍工廠にドック入りし、艦底についたフジツボやカキ殻をきれいに洗い落とすことが出来たことにより、日本海軍艦艇の高速航行が出来、勝利したとそうです。彼の貢献はそれだけではありません。大隈重信も語っていますが、「自分たち明治政府がやっていることは小栗上野介の単なる模倣に過ぎない」というように幕府後の政策要綱まで準備していたのです。その恩人の小栗上野介には、「幕府の主戦派」であると冤罪を言い立てて官軍が小栗を斬殺した大罪をお詫びすると述べたものですが、他の薩長藩士とはことなり東郷の姿には日本らしいすがすがし

いものを感じます。

でも、この二つの話が歴史に出てこない事が日本近代史の別の大問題といえます。所謂「負の歴史」が抹殺されているのです。日本の近代歴史学の創始者といわれ、明治4年の岩倉使節団の米欧回覧実記の大部冊をまとめた久米邦武がなぜ「国家の正史」を書けなかったのか、明治の歴史認識にもその影響を与えられなかったのはなぜか、という重大疑問が生じます。これこそ、21世紀の今にも通じる歴史修正主義問題ですが、その起源は明治維新にあったのです。日本で最初の議会が開催されたころ、総理大臣も務めた長州出身の伊藤博文が維新の歴史を書くのは早すぎるとして歴史編纂局をつぶしたことが原因とされています。薩長藩閥政府にとってそこで負の歴史を明らかにすると、明治政府自体が瓦解すると恐れたものでした。伊藤博文が中止した正史を書くには遅すぎますが、150年たった今、同郷で後輩の総理大臣として必ずまとめてもらいたいものです。「負の歴史」を隠蔽した歴史修正主義はやめにして本来の近現代国家史を史上初めて書くこととなります(網野)

当面の取組日程

千葉職対連事務局

3・14(水)	いの健千葉常任理事会	18:15~	自治体福祉センター
16(金)	工藤労災損害賠償裁判	11:00~	千葉地裁 603号法廷
16(金)	いの健千葉常任理事会	18:15~	自治体福祉センター
22(木)	千葉職対連常任幹事会	17:30~	民医連事務センタービル
31(土)	労災職業病なんでも相談会	13:00~	船橋市勤労市民センター
4・7(土)	千葉職対連花見会	11:00~	佐倉城址公園本丸跡
11(水)	いの健千葉常任理事会	18:15~	自治体福祉センター
18(木)	千葉職対連常任幹事会	17:30~	民医連事務センタービル
28(土)	労災職業病なんでも相談会	13:00~	千葉市中央コミュニティセンター
5・1(火)	千葉中央メデー	10:30~	千葉中央公園
9(水)	いの健千葉常任理事会	18:15~	自治体福祉センター
13(日)	いの健千葉第20回総会	13:30~	船橋市勤労市民センター(予)
16(木)	千葉職対連常任幹事会	17:30~	民医連事務センタービル
26(土)	労災職業病なんでも相談会	13:00~	船橋市勤労市民センター

2018年お花見のお誘い



日時 4月7日(土) 11:00~
 場所 佐倉城址公園本丸跡(雨天時は歴史博物館脇の休憩所の屋内開催)
 会費 1,000円
 交通 京成・JR 佐倉駅からバス「国立歴史博物館」行き終点
 連絡方法 当日、会場等不明の点は TEL を 高島 090-3208-2448